

2022年度 日本工学院専門学校																				
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース																				
音楽基礎B 4																				
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2									
担当教員	田中綾美			実務経験	有	職種	音楽家													
担当教員紹介																				
<p>メジャーレベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。</p>																				
授業概要																				
<p>この科目を受講する学生は、音楽分野におけるあらゆる基礎となる知識について学び、特に曲作りにおいて重要な役割を担うものです。と同時に、音楽においてだけでなく、実社会において全ての事象には学ぶことや、考えること、思考の必要性の重視も説いていく事を目的とします。</p>																				
到達目標																				
<p>様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自身で楽曲分析を出来るようにする。</p>																				
授業方法																				
<p>この授業では、テスト形式の筆記的思考をまずクリアしていくように、定義や概念の説明の後に必ず問題を解かせ、その後、実践形式の応用をやって行く形式です。また、収録した動画をオンデマンド授業として学生に配信する。</p>																				
成績評価方法																				
<table> <tr> <td>試験・課題</td> <td>70%</td> <td>課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価</td> </tr> <tr> <td>成果発表</td> <td>20%</td> <td>授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>10%</td> <td>積極的な姿勢</td> </tr> </table>												試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価	成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価	平常点	10%	積極的な姿勢
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価																		
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価																		
平常点	10%	積極的な姿勢																		
履修上の注意																				
<p>オンデマンド授業のため理解できるまで見直すこと。 それでも理解できない場合は登校日に講師に聴いて疑問を解決することを推奨する。 出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>																				
教科書教材																				
<p>毎回授業にて資料配布を行う。 参考書・参考資料等は授業中に指示をする。</p>																				
回数	授業計画																			
第1回	セカンダリーの使用方法を楽曲分析にて理解させる																			
第2回	実際の学生の曲にセカンダリーを入れてみる																			
第3回	在る場合とない場合との違いを考察しながら、入れるポイントを理解する(2~5進行等)																			
第4回	クリシェおよびその使用方法を分析にて理解させる																			
第5回	既存曲を用いてカノン進行を理解する																			

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
音楽基礎 B 4	
第6回	J—P O P に良く用いられるいくつかのコードパターンを実際に使ってみる
第7回	モードについての理解、その使用方法等について理解する
第8回	後期試験を見据えた中間テストで理解を含める
第9回	様々なコードパターンを含む楽曲をアナライズする
第10回	学生から公募しタ作品をアナライズする
第11回	アボイドを用いたいくつかの例を挙げてその解説を行う
第12回	8小節のケーデンス内でセカンダリーを用いた作曲をする
第13回	8小節のケーデンス内でクリシェ、カノン進行を用いた作曲をする
第14回	作曲したものを授業内で発表する
第15回	後期まとめ